寒くなるこれからの季節

- 家庭でも簡単にできる水道の凍結対策-

寒さが厳しくなってくると、水道管や水道メーターなどが凍結し、水が出なくなったり、破裂したりする ことがあり、高い修理費用がかかる場合があります。そうしたことを未然に防ぐ防寒対策や、緊急時の対応 についてご紹介します。ぜひ実践してみてください。

~凍結から水道管を守るために~

◆特に凍結しやすい場所

- ・風当たりの強い場所にある水道管やメーター
- ・北向きで日陰にある水道管やメーター
- ・むき出しになっている水道管
- ・家の外にある蛇口

◆メーターボックス内を保温

メーターボックスの中に、水道メーターを保護するよう保温材(発泡スチロールや布切れなどをビニール袋に いれたもの)を詰めてください。

※検針の際に取り出しやすいように、小袋に分けて入れてください。





メーターボックス内 を発泡スチロールや 布などで保温

◆露出している水道管や蛇口を保温

水道管や蛇口に保温材や毛布などを巻き付け、水に 濡れて凍らないように、その上から隙間なくビニール テープなどでしっかり巻いてください。

また、加温式(電熱式)凍結防止器を利用する方法 もあります。

◆水を出しておく

◆こんな時は注意

・外気温が-4℃以下になった時

・旅行で家を留守にするなど、長期間水道を使用しな

翌朝強い冷え込みが予想される時は、前夜から箸の 太さぐらいに水を少しずつ出しておくのも有効です。 ※出した分の水については、料金がかかりますので出 し過ぎにはご注意ください。お風呂の浴槽などにた めるようにして、有効活用しましょう。

~凍結してしまったら~

◆ぬるま湯をかける

凍った部分にタオルや布をかぶせ、必ず「ぬるま湯」をゆっくりとかけて 溶かしてください。熱湯をかけると、水道管が破裂する恐れがありますの で、注意してください。

※蛇口を開けても水が出ない時は、蛇口を開けたままに せず、必ず閉めてください。

ぬるま湯をゆっくり かけましょう



~破裂してしまったら~

◆市指定給水装置工事事業者へ修理を依頼

水道管が破裂した時は、メーターボックス内の補助止水バルブを閉めて水を止めます。 応急処置として破裂した部分に布かテープをしっかり巻いて、「市指定給水装置工事事業 者」に修理の依頼をしてください。

※指定の業者が分からない時は、水道課に問い合わせるか、市ホームページで確認ください。

○問い合わせ○ 水道課 ☎52 - 0427

市ホームページで確認 ⇒ http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/page/page000158.html

「くらし→上下水道→上水道→水道工事は指定給水装置工事事業者へ」

~水道料金が増えたら~

◆漏水していないかチェック!

冬は、凍結による水道管の破裂で漏水が発生しやすくなります。「いつもと同 じように使っていたのに、急に水道料金が高くなった|「いつも地面や壁が濡れて いる」という場合は、水道メーターをチェックしてみま しょう。

漏水していないか パイロットを確認



修理の依頼は

市指定業者へ

◆漏水の調べ方

- ①家庭内の水道の蛇口を全部閉める。トイレや給湯器、散水栓などを使用していないことを確認。
- ②メーターボックス内の水道メーターのパイロット(上写真の丸いコマ)を確認。
- ③パイロットが少しでも回転している場合は漏水の可能性があります。 その時は、早めに「市指定給水装置工事事業者」に修理を依頼してください。

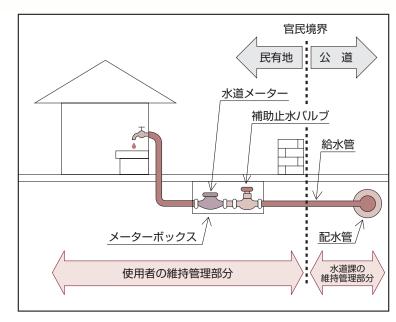
◆漏水による水道料金の減免制度

地下漏水などについては、料金の一部を減免する制度があります。水道課までお問い合わせください。

◆給水装置の修理は誰がするの?

道路に埋設している水道管(配水管)から 分かれて、家庭まで引き込まれた給水管・止 水栓・水道メーター・蛇口などの給水用具を まとめて「給水装置」といいます。これら給 水装置は、水道メーターを除いて使用者(所 有者)の財産となります。給水装置のうち公 道部分については市で維持管理しています が、民有地の凍結による水道管破裂や老朽化 による漏水などの修理費用は、使用者(所有 者)の負担となります。(右図参照)

漏水は、大切な水を無駄にするだけでな く、家庭では思わぬ出費ともなりますので、 日ごろから凍結防止や給水装置の点検に努め ましょう。



一水は限りある資源です。大切に使いましょう一

■問い合わせ■ 水道課 総務グループ ☎52 - 0427

広報 常陸大宮 4 平成28年11月号